

# 令和2年度 指導計画・評価計画表 【3年生数学科】

## 1 教科目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

## 2 評価の観点及びその趣旨

### (1) 数学への関心・意欲・態度

様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見出したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。

### (2) 数学的な見方や考え方

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見出したり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。

### (3) 数学的な技能

平方根を含む式の計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について簡潔に表現したり、関数関係を的確に表現したり、標本を抽出したりするなど、技能を身に付けている。

### (4) 数量や図形などについての知識・理解

数の平方根の必要性と意味、式の変形の意味とはたらき、二次方程式、図形の掃除の意味や円周角と中心角の関係の意味、三平方の定理の意味、関数  $y=ax^2$  の特徴、標本調査の必要性と意味などを理解し、知識を身に付けている。

## 3 第3学年の目標

(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。

(2) 図形の掃除、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。

(3) 具体的な事象を調べることを通して、関数  $y=ax^2$  について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。

(4) 母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。

## 4 指導計画・評価計画表

指導内容 一般 ☆スパイラル的演習 ◎言語活動 ※発展課題 観点項目 ① 数学への関心・意欲・態度 ② 数学的な見方や考え方 ③ 数学的な技能 ④ 数量・図形などについての知識・理解

月	指導単元	指導内容	配当時数		観点項目	指導目標 (ねらい)	具体的評価規準	評価方法	支援方法
6	<2年時未履修分> 第5章 三角形と四角形 2 四角形 3 特別な平行四辺形 4 面積が等しい三角形 4時間配当	・平行四辺形と四角形 ・四角形の性質とまとめ ・底辺が共通な三角形 ・等積変形 ※章のまとめと演習	基礎	標準	① ② ③ ④	・様々な事象を平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などでとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・三角形や平行四辺形の性質などに関心を持ち、それらについて調べ、証明しようとしている。 ・図形の性質の証明を読むことに関心を持ち、新たな性質を見いだそうとしている	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察	・少人数授業 ・質問教室 ・補習 ・机間指導 ・指導助言
			1	1		・平行四辺形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を調べ、証明することができる。 ・図形の性質の証明を読み、新たな性質を見いだすことができる。	・指導方法の工夫改善 (個別観察と支援) ・教材の開発	
			1	1		・平行四辺形の性質などを、数学の用語や記号を用いて簡潔に表現するなど、技能を身に付けている。	・平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件などを、記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 ・証明から、辺や角の関係などを読み取ることができる。 ・証明を読んで見いだした図形の性質を、記号を用いて表すことができる		
			1	1		・平行四辺形などについての性質、図形の証明の必要性と意味及びその方法などを理解し、知識を身に付けている。	・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解している。 ・長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係を理解している。		
1	第1章 式の計算 1 多項式の計算 1 単項式と多項式の乗法と除法 2 多項式の乗法 3 展開の公式 2 因数分解	・既習事項の確認 ・分配法則 ・多項式と単項式の乗除 ・多項式の乗法 ・乗法公式 ・平方の公式・和と差の積 ☆展開の練習	基礎	標準	①	・様々な事象を簡単な多項式などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用していたり、考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法に関心を持ち、それらの計算をしようとしている。 ・一次式の乗法、式の展開と因数分解に関心を持ち、それらの計算をしようとしている。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。 ・素因数分解に関心を持ち、素因数分解したり、素数を見つけたりしようとしている。	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察	・少人数授業 ・質問教室 ・補習 ・机間指導 ・指導助言

7	1 因数分解	◎和と積から2数を求める活動。 ・式の因数と因数分解の意味 ・共通因数のくくり出し	1 1 1	1 1 1	[2] [3] [4]	・簡単な多項式などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・乗法公式の意味を理解し、その公式の成り立ちを考えて説明することができる。 ・見通しをもって、いろいろな式の展開や因数分解を処理することができる。 ・文字式を活用して計算したり証明したりすることができる。	・指導方法の工夫改善 (個別観察と支援) ・教材の開発
	2 因数分解の公式	・乗法公式の利用 ・平方の公式・和と差の積の利用 ☆因数分解の練習 ☆展開と因数分解の確認 ・いろいろな展開 ・いろいろな因数分解 ・難しい因数分解	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1		・数や文字を含む簡単な式の計算をしたり、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったり、文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解をしたりなどの、技能を身に付けている。	・単項式と多項式の乗除の計算ができる。 ・乗法公式を活用して式の展開ができる。 ・乗法公式を活用して式の因数分解ができる。	
	3 式の計算の利用 1 式の計算の利用	・展開や因数分解を利用した計算 ・式の値 ・文字式による証明 ☆展開と因数分解の練習 ※発展課題	1 2 1	1 1 2 1		・数や文字式の必要性和意味、式の展開の公式、の必要性和意味及びその活用などを理解し、知識を身に付けている。	・文字式に関する用語を正しく理解し使うことができる。 ・乗法公式を正しく理解している。 ・展開、因数分解、式の値などの操作に関する用語を正しく理解し使うことができる。	
	4 素因数分解 1 素因数分解	・素因数分解	1	1				
2 1時間配当								
8	第2章 平方根 1 平方根 1 平方根	◎平方根の存在を考察する活動 ・平方根の意味と使い方 ・平方根を求める ・平方根の大小 ・平方根を求める ・有理数と無理数	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	[1] [2] [3] [4]	・様々な事象を数の平方根などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに興味をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用していたり、考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・数の平方根に関心をもち、その必要性和意味を考えたり、数の平方根を用いて、身の回りの様々な事象を表したり、その近似値を求めたりしようとしている。 ・数の平方根を含む式の四則計算に関心をもち、その意味や計算の仕方を考えたり、計算したりしようとしている。 ・平方根を用いることに興味をもち、具体的な場面で数量を表したり処理したりしようとしている。	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察 ・指導助言 ・指導方法の工夫改善 (個別観察と支援) ・教材の開発
	2 平方根の値	・√のついた数の乗法除法 ・整数と√のついた数の乗法 ・√の中を簡単な数にする ・素因数分解の活用 ☆練習課題 ・分母の有理化 ・近似値を求める ・根号を含む式の和と差	1 1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1		・数の平方根などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・新しい数の必要性を理解し説明することができる。 ・平方根の意味を理解し近似値を求める方法を説明できる。 ・有理数と無理数の関係を理解し数の世界を説明できる。	
	2 根号をふくむ式の計算 1 根号をふくむ式の乗法と除法	・√のついた数の乗法除法 ・整数と√のついた数の乗法 ・√の中を簡単な数にする ・素因数分解の活用 ☆練習課題 ・分母の有理化 ・近似値を求める ・根号を含む式の和と差	1 1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1		・数の平方根や文字を含む簡単な式の計算をしたり、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったり、平方根を用いた簡単な式について、式の展開や因数分解をしたりなどの、技能を身に付けている。	・平方根の大小関係を正しく表現できる。 ・いろいろな数を数直線に表現したり分類したりすることができる。 ・根号を含む簡単な式の計算が正しくできる。 ・根号を含む簡単な式の変形が正しくできる。	
	2 根号をふくむ式の加法と減法 3 いろいろな計算	・根号を含む式の積 ☆章の復習 ※循環小数 ※発展課題	2	1 2 1		・数の平方根の必要性和意味、式の展開の公式、との関係性及びその活用などを理解し、知識を身に付けている。	・数としての平方根について理解している。 ・数の概念を理解し一層深める。	
1 7時間配当								
9	第3章 2次方程式 1 2次方程式	☆既習事項の確認 ・2次方程式と解の意味 ・因数分解の活用 ・ $ax^2 = b$ の解き方 ・ $(x+m)^2 = n$ の解き方 ・ $x^2 + px + q = 0$ の解き方 ・解の公式 ・解の公式の活用 ※bが偶数の解の公式	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	[1]	・様々な事象を2次方程式などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに興味をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用していたり、考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・2次方程式とその解に関心をもち、その必要性和意味を考えたり、様々な数を代入するなどして自分なりの方法で解を求めたりしようとしている。 ・2次方程式を解くことに興味をもち、因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解こうとしている。 ・2次方程式の解の公式に関心をもち、その導き方を考えたり、それを用いて2次方程式を解いたりしようとしている。 ・2次方程式を活用することに関心をもち、問題	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察 ・指導助言 ・指導方法の工夫改善
	1 2次方程式とその解	・2次方程式と解の意味	1	1				
	2 因数分解による解き方	・因数分解の活用	1	1				
	3 平方根の考えを使った解き方	・ $ax^2 = b$ の解き方 ・ $(x+m)^2 = n$ の解き方 ・ $x^2 + px + q = 0$ の解き方	1 1 1	1 1 1				
	4 2次方程式の解の公式	・解の公式 ・解の公式の活用 ※bが偶数の解の公式	1 1 1	1 1 1				

9	5 解が与えられた 2次方程式	☆方程式を解く練習 ・解が与えられた2次方程式	1 1	1 1		の解決に生かそうとしている。		(個別観察と支援)
	2 2次方程式の利用 1 2次方程式の利用	・整数の問題 ・図形の問題 ・立体の問題 ・動点の問題 ※食塩水の問題 ☆章の復習	1 1 1 1	1 1 1 1	2	・2次方程式などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・見通しをもって2次方程式を解く方法を選択して解くことができる。 ・2次方程式を用いて実際の問題を解決したり、考察することができる。 ・2次方程式の解の意味を理解し問題に合わせて吟味することができる。	・教材の開発
	1 4時間配当			1	3	・簡単な2次方程式を解いたり、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったり、平方完成を用いたり、式の展開や因数分解をしたり工夫して方程式を解くなどの、技能を身に付けている。	・平方根を活用して方程式を解くことができる。 ・平方完成を利用して方程式を解くことができる。 ・解の公式を活用して方程式を解くことができる。 ・因数分解を活用して方程式を解くことができる。	
					4	・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味などを理解し、知識を身に付けている。	・2次方程式の用語を正しく理解し使うことができる。 ・2次方程式とその解について理解している。	
10	第4章 関数 $y = ax^2$	☆既習事項の確認	1					
	1 関数 $y = ax^2$ 1 2乗に比例する関数	◎2次方程式の存在 ・二乗に比例する関数 ・式を求める	1 1 1	1 1 1	1	・様々な事象を関数 $y = ax^2$ などとしてとらえたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・関数 $y = ax^2$ に関心を持ち、具体的な事象の中から関数 $y = ax^2$ としてとらえられる二つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。 ・関数 $y = ax^2$ の特徴に関心を持ち、表、式、グラフを用いて考えようとしている。	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察
	2 関数 $y = ax^2$ のグラフ	・式から表、グラフを書く ・グラフの特徴とa ・表から式、グラフを書く ・グラフから式、表を書く	2 1 1 1	2 1 1 1			・関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。 ・いろいろな事象と関数に関心を持ち、表やグラフなどで表したり、その特徴を考えたりしようとしている。	
	3 関数 $y = ax^2$ の値の変化	・yの値の変化 ・変域を求めること ・一次関数との交点を求める ・変化の割合と一次関数 ・変化の割合を求める ・平均の速さ	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1				
11	2 関数の $y = ax^2$ 利用 1 関数の $y = ax^2$ 利用 2 いろいろな関数	・身の回りの関数 $y = ax^2$ ・図形と関数 ・放物線と直線 ・グラフがつかない関数 ※グラフの総合問題 ☆章の復習	1 1 1 1	1 1 1 1	2	・関数 $y = ax^2$ などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を数の性質などから考察し説明することができる。 ・表やグラフから式を求める方法を考察して説明することができる。 ・身の回りの関数 $y = ax^2$ について考察し活用することができる。	
	1 9時間配当				3	・関数 $y = ax^2$ の関係などを、表、式、グラフを用いて的確に表現したり、数学的に処理したりするなど、技能を身に付けている。	・式から表を作りグラフを書くことができる。 ・表から式を求めグラフを書くことができる。 ・表やグラフを活用して変域を求めることができる。 ・表やグラフを活用して一次関数との交点を求めることができる。	
					4	・事象の中には関数 $y = ax^2$ などとして捉えられるものがあることや関数 $y = ax^2$ の表、式、グラフの関連などを理解し、知識を身に付けている。	・関数 $y = ax^2$ についての用語を正しく理解し使うことができる。 ・いろいろな関数の存在を理解し活用することができることを理解している。 ・式と表、グラフを関連づけて理解している。	
	第5章 相似							
	1 相似な図形 1 相似な図形の性質	◎拡大と縮小 ・相似な図形の性質 ・相似比	1 1 1	1 1 1	1	・様々な事象を相似な図形の性質などでとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり、判断したりしようとする態度を身に付けている。	・相似な図形の性質に関心を持ち、それについて考えようとしている。 ・三角形の相似条件に関心を持ち、それについて考えたり、それを用いて証明したりしようとしている。	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察
	2 三角形の相似条件	☆三角形の合同条件 ・三角形の相似条件 ・合同条件を使った証明	1 1 2	1 1 1			・平行線と線分の比についての性質に関心を持ち、平行線の性質や三角形の相似条件を用いて証明しようとしている。 ・相似な図形の相似比と面積比及び体積比に関心を持ち、それらの関係について考えようとする。	
	3 縮図の利用	・縮図の利用	1	1				

1	2	2 平行線と線分の比 1 三角形と比	• 相似条件を使った証明練習	1	1		している。 • 相似な図形の性質を用いて具体的な事象をとらえることに興味をもち、問題の解決に生かそうとしている。	• 指導助言 • 指導方法の工夫改善（個別観察と支援） • 教材の開発
			• 三角形の線分と比 • 平行線と比 • 三角形の比	2 2 1	2 2 1	2	• 相似な図形の性質などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
			• 中点連結定理 • 中点連結定理の利用 ※中点連結定理を利用した証明	1 1 1	1 1 1	3	• 相似な図形の性質、三角形の相似条件などを、数学の用語や記号を用いて簡潔に表現したりするなど、技能を身に付けている。	
			• 平行線と線分の比 • 角の二等分線と線分の比	1 1	1 1	4	• 相似の意味、三角形の相似条件、平行線と線分の比についての性質、相似比と面積比及び体積比の関係を理解し、知識を身に付けている。	
1	3	3 面積の比、体積の比 1 三角形の面積と線分の比 2 相似な図形の面積の比 3 相似な立体の表面積の比、体積の比	• 相似な図形の面積の比	1	1		• 相似条件を正しく理解し、式や図に表現することができる。 • 相似な図形の性質を理解し活用して線分の長さや面積などを求めることができる。 • 中点連結定理などを活用して線分の長さや角度などを求めることができる。	
			• 立体の相似 • 相似な立体の表面積の比	1 1	1 1		• 相似条件を正しく理解し、式や図に表現することができる。 • 相似な図形の性質を理解し活用して線分の長さや面積などを求めることができる。 • 中点連結定理などを活用して線分の長さや角度などを求めることができる。	
			• 相似な立体の体積の比 • 錐体に関する体積の比	1 1	1 1		• 平面図形の相似の意味と性質を理解している。 • 中点連結定理について理解している。 • 相似が、様々な場面で活用されていることを理解している。	
			☆章の復習		1			
2 3 時間配当								
2	3	第6章 円 1 円 1 円周角の定理 2 円周角の定理の逆 3 円の性質の利用	• 円周角の性質 • 円周角の性質の証明 • 等しい弧に対する円周角 ☆円周角を用いて角度を求める	1 1 1 1	1 1 1 2	1	• 様々な事象を円周角と中心角に関係などでとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり、判断したりしようとする態度を身に付けている。	• 定期テスト • 練習課題 • 小テスト • 授業観察 • 少人数授業 • 質問教室 • 補習 • 机間指導 • 指導助言 • 指導方法の工夫改善（個別観察と支援） • 教材の開発
			• 円周角の定理と逆	1	1	2	• 円周角と中心角の関係などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
			• 円の性質と作図 • 円の性質を用いた証明（合同） • 円の性質を用いた証明（相似） ※円の演習問題 ☆章の復習 ※発展課題	1 2 3	1 1 3	3	• 円周角や中心角の大きさを求めたりするなど、技能を身に付けている。	
					1	4	• 円周角と中心角の関係を理解し、知識を身に付けている。	
1 2 時間配当								
1	2	第7章 三平方の定理 1 三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理の逆 2 三平方の定理の利用 1 平面図形への利用	◎正方形の面積と三平方の定理 • 三平方の定理と証明 • 三平方の定理の利用 • 三平方の定理の逆	1 1 1 1	1 1 1 1	1	• 様々な事象を三平方の定理などでとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり、判断したりしようとする態度を身に付けている。	• 定期テスト • 練習課題 • 小テスト • 授業観察 • 少人数授業 • 質問教室 • 補習 • 机間指導 • 指導助言 • 指導方法の工夫改善（個別観察と支援）
			• 長方形の対角線を求める • 二等辺三角形の高さ • 特別な直角三角形 ☆三平方の定理を用いて長さを求める • 正三角形の高さと面積	1 1 2 2 1	1 1 1 2 1	2	• 三平方の定理などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を	

	2 空間図形への利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接線と三平方の定理</li> <li>・弦と三平方の定理</li> <li>・座標平面と三平方の定理</li> </ul>	1 1 1	1 1 1		用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	辺の長さを求めたりすることができる。		・教材の開発			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・直方体の対角線の長さ</li> <li>・錐体の高さや体積を求める</li> <li>・立体の表面上の最短距離</li> <li>※三平方の定理総合演習</li> </ul>	1 1 1	1 1 1	③	・直角三角形の辺の長さを求めたりするなど、技能を身に付けている。	・直角三角形の辺の長さを三平方の定理を用いて求めることができる。					
	1 7時間配当	☆章の復習		1	④	・三平方の定理の意味などを理解し、知識を身に付けている。	・三平方の定理について理解し、直角三角形では辺の長さの関係から長さを計算できることを知っている。					
	第8章 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全数調査と標本調査</li> <li>・標本調査の意味</li> <li>・母集団と標本</li> <li>・標本調査の方法</li> <li>・標本調査の活用</li> <li>☆章の復習</li> <li>※発展課題</li> </ul>	1 1 1 1 2	1 1 1 1 1	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事象について、母集団から標本を抽出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を推定しようとするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査に関心を持ち、その必要性和意味を考えたり、母集団から偏りなく標本を抽出したり、母集団の傾向を推定したりしようとしている。</li> <li>・標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数授業</li> <li>・質問教室</li> <li>・補習</li> <li>・机間指導</li> <li>・指導助言</li> <li>・指導方法の工夫改善（個別観察と支援）</li> <li>・教材の開発</li> </ul>			
	1 母集団と標本											
	1 母集団と標本											
	2 標本調査の利用											
	6時間配当				②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の意味を理解し、母集団の推定ができる。</li> </ul>					
					③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母集団から標本を取り出し、表やグラフに整理するなど、技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合の標本調査について結果の処理を行うことができる。</li> </ul>					
					④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の必要性和意味などを理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の意味と必要性を理解している。</li> </ul>					
	全体総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的基本的な事項の確認</li> <li>・総合演習</li> <li>※発展的な課題学習</li> </ul>	2	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的基本的な計算問題ができ、各学年の方程式を解くことができる。</li> <li>・図形の証明や文字式による説明、図形の作図などを解くことができる。</li> <li>・発展的な問題を解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習課題</li> <li>・授業観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数授業</li> <li>・机間指導</li> <li>・指導助言</li> <li>・教材の開発</li> </ul>			
	2時間配当											
	ぐんぐんのばそうチャレンジ編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校で学習する内容の紹介</li> </ul>	1	1	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校数学との関係を明確に発展的な学習内容を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容例 ・式の展開と因数分解・剰余の定理・集合・順列組み合わせ・三角比など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の開発</li> <li>・指導方法の工夫改善</li> </ul>			
	1時間配当											
年間	各章共通	各内容共通			①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に積極的に取り組み、数学を活用し授業では発言や質問ができる。</li> <li>・能力に合わせてノートを作成し提出することができる。</li> <li>・練習課題に取り組み自己の課題を確認することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・机間指導</li> <li>・ノート提出</li> <li>・課題提出</li> <li>・ファイル提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導助言</li> <li>・個別指導</li> <li>・未提出物連絡</li> </ul>			